

TOSHIBA

2022年度 第1四半期決算

2022年8月10日
株式会社 東芝
代表執行役専務 CFO

平田 政善

注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの3ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

今回ご説明のポイント

22/1Q実績 **当期純損益は対前同増益、営業外損益の増益が寄与**
22年度予想 **営業損益は前回予想(5/13公表)通りの1,700億円**

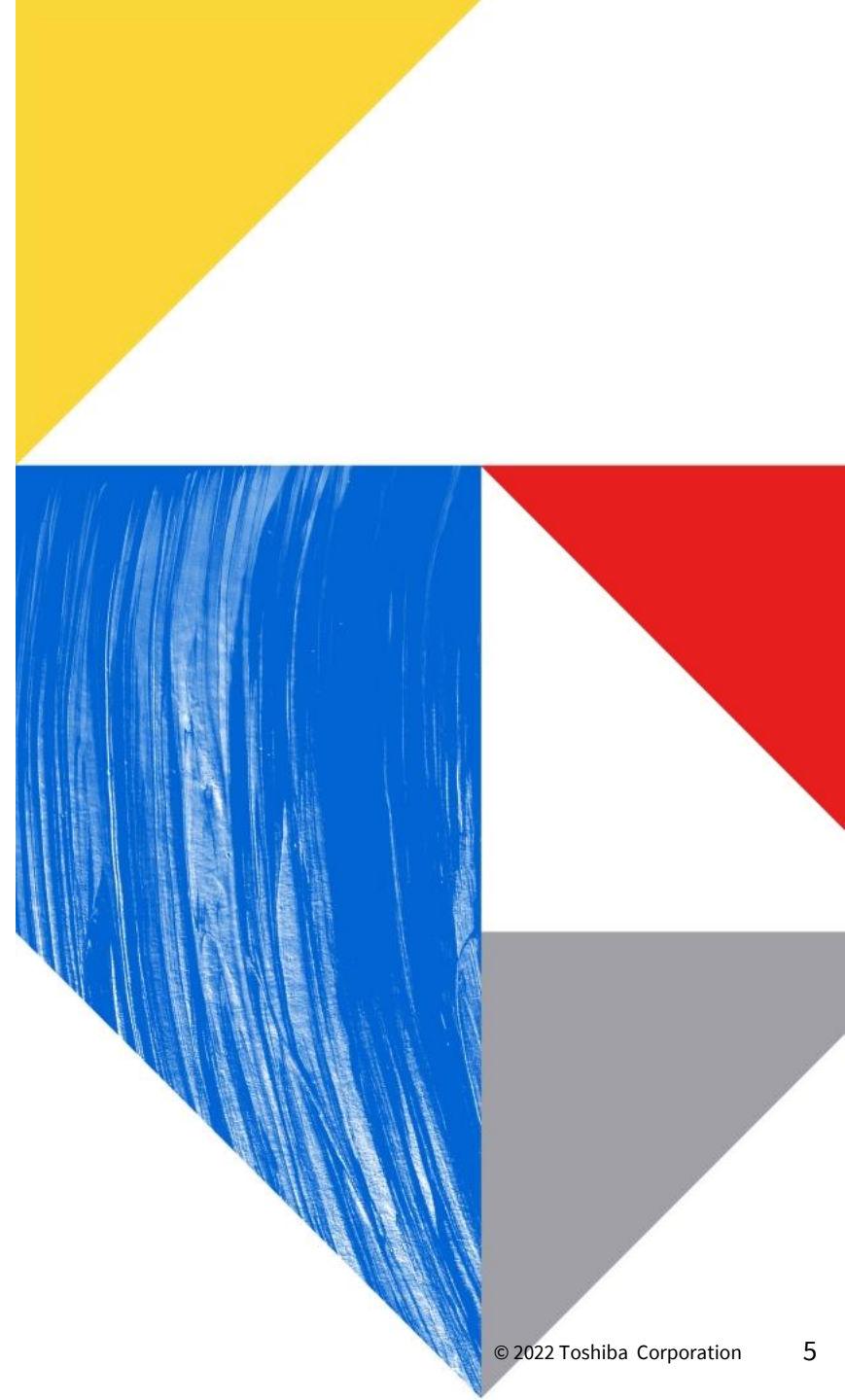
- 営業損益は対前同減益も、営業外損益の増益により当期純損益は増益
 - 売上高 21/1Q 7,279億円 → 22/1Q 7,407億円 (対前同 +128億円)
 - 営業損益 21/1Q 145億円 → 22/1Q ▲48億円 (対前同 ▲193億円)
 - 当期純損益 21/1Q 180億円 → 22/1Q 259億円 (対前同 +79億円)
- フリー・キャッシュ・フローは投資キャッシュ・フローを上回る営業キャッシュ・フローにより936億円を確保
- 受注高は昨年度における大口案件受注の影響等により減少も平年並み
受注残は火力案件等の売上進捗により対前同で減少
- 22年度業績予想は、期初想定を上回る半導体不足や素材高騰影響に対し、
売価アップや構成差等により、前回予想(5/13公表)通りの営業利益1,700億
円の達成を見込む

本日のご説明内容

- 01 全社業績
- 02 セグメント業績
- 03 補足説明事項
- 04 2022年度業績予想

01

全社業績



損益項目

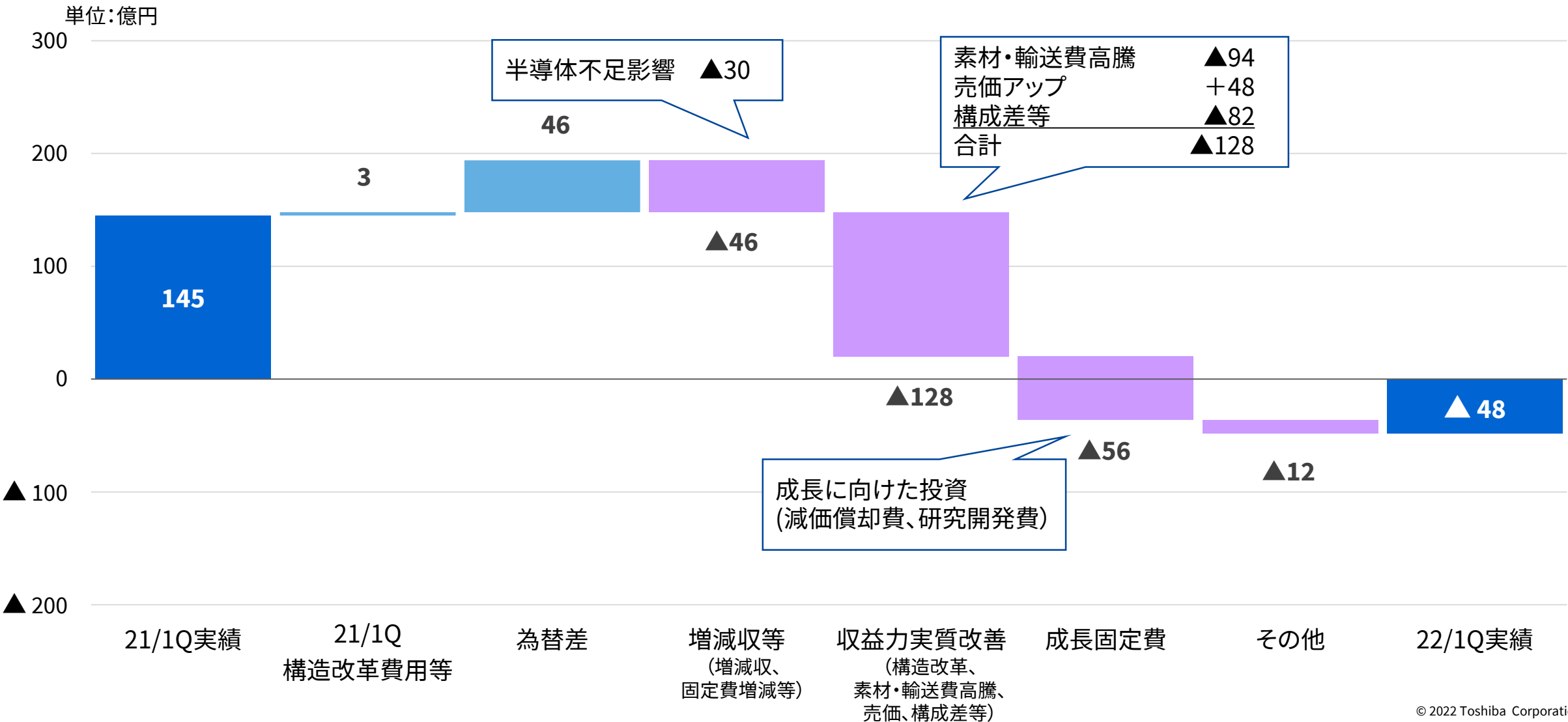
営業損益は対前同減益も、営業外損益の増益により当期純損益は対前同増益

	21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因	単位:億円 (↗):改善要因 (↘):悪化要因
売上高 伸長率	7,279	7,407	+128 +2%	(↗) エネルギーシステムSL、インフラシステムSL、ビルSL リテール&プリンティングSL、その他 (↘) デバイス&ストレージSL、デジタルSL うち為替影響 +413	
営業損益 ROS	145 2.0%	▲48 ▲0.6%	▲193 ▲2.6%pt	(↗) インフラシステムSL (↘) エネルギーシステムSL、ビルSL、リテール&プリンティングSL デバイス&ストレージSL、デジタルSL、その他 うち為替影響 +46	
EBITDA EBITDAマージン ※1	358 4.9%	173 2.3%	▲185 ▲2.6%pt		
税引前損益	292	417	+125	(↗) 営業損益 ▲193 営業外損益 +318	
当期純損益 一株当たり当期純損益 発行済株式数(千株) ※2	180 39.65円 453,837	259 59.85円 432,645	+79 +20.20円 ▲21,192		
期中平均為替レート (米ドル)	110円	127円	+17円		

※“SL”はソリューションの略 ※1 EBITDA=営業損益+減価償却費 ※2 発行済株式数は期中平均発行数(自己株式控除後)

営業損益分析 (21/1Q→22/1Q)

円安による改善影響があるも、半導体不足影響、素材・輸送費高騰影響により対前同減益



営業外損益

有価証券売却損益および持分法損益の改善等により対前同増益

単位:億円

	21/1Q	22/1Q	差
金融収支	2	0	▲2
為替差損益	2	32	+30
固定資産売却損益	5	46	+41
有価証券売却損益	0	※1 301	+301
訴訟和解費用	▲9	▲51	▲42
持分法損益	64	153	※2 +89
その他	※3 83	▲16	▲99
合計	147	465	+318

※1:広東美芝精密製造社および
広東美芝コンプレッサー社の売却益 200
中部東芝エンジニアリング(株)の売却益 100

※2:キオクシア持分法損益差 +79
(21年度1Q 43→22年度1Q 122)

※3:米国子会社清算に伴う外貨換算調整額の実現 35
訴訟損失引当金戻入 29

キャッシュ・フロー／バランスシート項目

	21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因	単位:億円 (↗):改善要因 (↘):悪化要因
フリー・キャッシュ・フロー	1,553	936	▲617		
営業キャッシュ・フロー	1,860	1,110	▲750	(↘) 前年同期における大口の前受金受領による影響	
投資キャッシュ・フロー	▲307	▲174	+133		

	22/3末	22/6末	差	主な差異要因
株主資本	12,066	12,217	+151	(↗) 当期純損益 +259
株主資本比率	32.3%	31.8%	▲0.5%pt	(↘) その他の包括損益累計額 +195 配当 ▲303
Net有利子負債 ※	812	142	▲670	(↗) フリー・キャッシュ・フロー +936
除く、オペレーティングリース債務	▲279	▲901	▲622	(↘) 配当 ▲312
Net D/Eレシオ	7%	1%	▲6%pt	
除く、オペレーティングリース債務	▲2%	▲7%	▲5%pt	

※ Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態（現金同等物が有利子負債を上回る）であることを示しています。

詳細項目

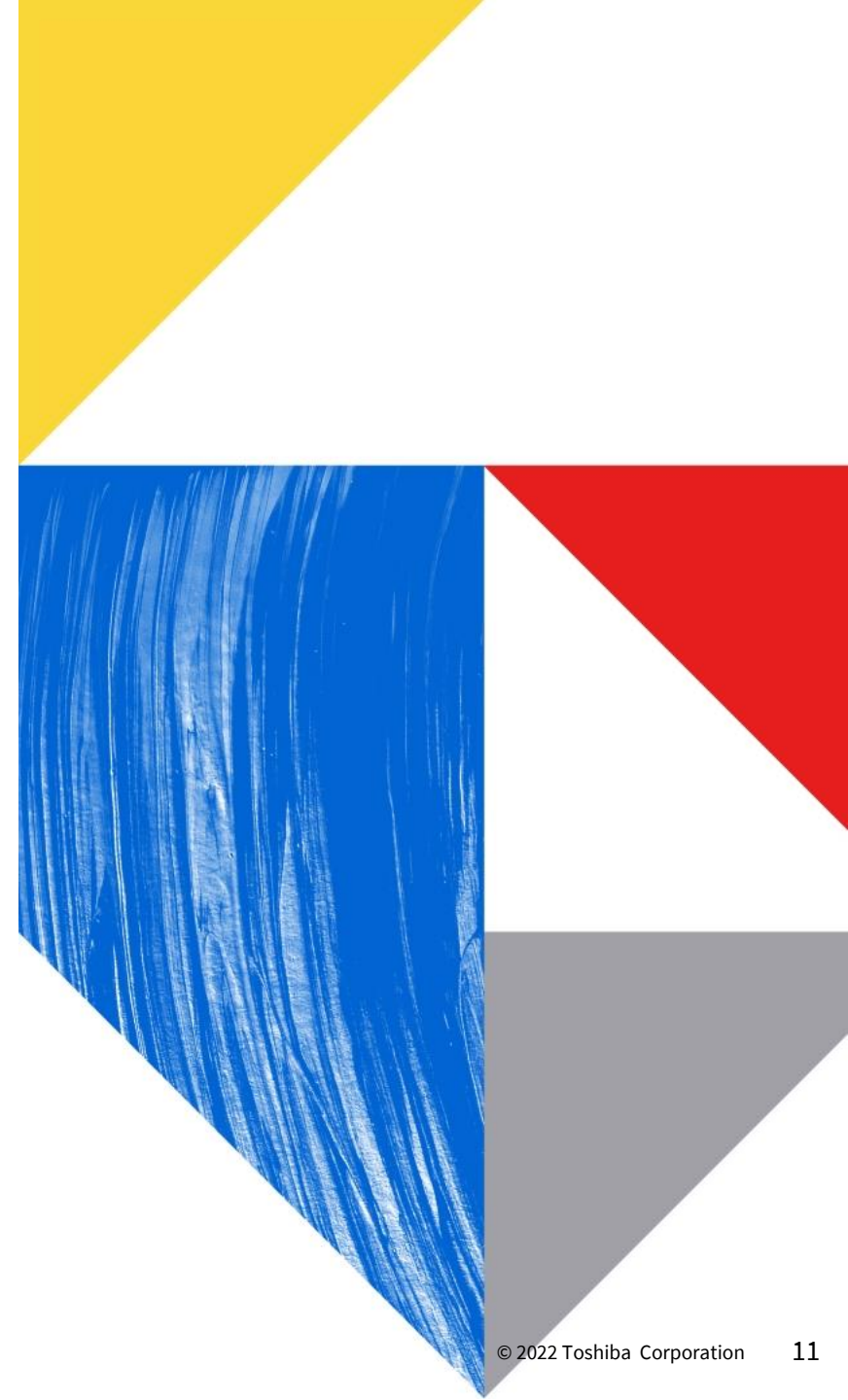
単位:億円

	21/1Q	22/1Q	差
売上高	7,279	7,407	+128
営業損益	145	▲48	▲193
営業外損益	147	465	+318
税引前損益	292	417	+125
税金費用	▲57	▲55	+2
非支配持分控除前当期純損益	235	362	+127
非支配持分帰属損益	▲55	▲103	▲48
当期純損益	180	259	+79
1株当たり当期純損益	39.65円	59.85円	+20.20円
フリー・キャッシュ・フロー	1,553	936	▲617

	22/3末	22/6末	差
株主資本	12,066	12,217	+151
株主資本比率	32.3%	31.8%	▲0.5%pt
純資産	13,667	13,927	+260
Net有利子負債	812	142	▲670
Net D/Eレシオ	7%	1%	▲6%pt
期末日為替レート(米ドル)	122円	137円	+15円

02

セグメント業績



セグメント業績

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	(伸長率)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	987	1,218	+231	(+23%)
	営業損益	▲18	▲76	▲58	
	ROS	▲1.8%	▲6.2%	▲4.4%pt	
インフラシステム ソリューション	売上高	1,281	1,351	+70	(+5%)
	営業損益	▲4	5	+9	
	ROS	▲0.3%	0.4%	+0.7%pt	
ビル ソリューション	売上高	1,420	1,423	+3	(+0%)
	営業損益	64	3	▲61	
	ROS	4.5%	0.2%	▲4.3%pt	
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,105	1,106	+1	(+0%)
	営業損益	38	2	▲36	
	ROS	3.4%	0.2%	▲3.2%pt	
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	2,009	1,815	▲194	(▲10%)
	営業損益	103	77	▲26	
	ROS	5.1%	4.2%	▲0.9%pt	
デジタル ソリューション	売上高	485	478	▲7	(▲1%)
	営業損益	29	25	▲4	
	ROS	6.0%	5.2%	▲0.8%pt	
その他	売上高	504	507	+3	(+1%)
	営業損益	▲80	▲106	▲26	
消去	売上高	▲512	▲491	+21	
	営業損益	13	22	+9	
合計	売上高	7,279	7,407	+128	(+2%)
	営業損益	145	▲48	▲193	
	ROS	2.0%	▲0.6%	▲2.6%pt	

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位: 億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
エネルギーシステム ソリューション	売上高	987	1,218	+231	為替影響 +54
	営業損益	▲18	▲76	▲58	為替影響 ▲1 構造改革効果 ±0
	ROS	▲1.8%	▲6.2%	▲4.4%pt	
	セグメント別FCF		50		
発電システム	売上高	610	776	+166	
	営業損益	▲31	▲43	▲12	(▼) 火力・水力事業
	ROS	▲5.1%	▲5.5%	▲0.4%pt	
原子力	売上高	198	242	+44	(↗) 安全対策工事関連の工程進捗差等
	火力・水力	412	534	+122	(↗) 既受注案件の工事進捗等
送变电・配電等	売上高	389	486	+97	(↗) 送变电・配電システム、太陽光発電システム
	営業損益	18	▲27	▲45	(▼) グリッド案件の構成差
	ROS	4.6%	▲5.6%	▲10.2%pt	発電事業における燃料費・海上輸送費高騰
その他	売上高	▲12	▲44	▲32	
	営業損益	▲5	▲6	▲1	

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

※ 21年度実績は送变电・配電等とその他で一部を組み替えております。

インフラシステムソリューション 主要事業内訳

単位: 億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
インフラシステム ソリューション	売上高	1,281	1,351	+70	為替影響 +33
	営業損益	▲4	5	+9	為替影響 ±0 構造改革効果 ±0
	ROS	▲0.3%	0.4%	+0.7%pt	
	セグメント別FCF		573		
公共インフラ	売上高	710	716	+6	(⚡) 電波システム事業の規模増
	営業損益	25	29	+4	(⚡) 電波システム事業の増収による増益
	ROS	3.5%	4.1%	+0.6%pt	
鉄道・産業システム	売上高	689	736	+47	(⚡) 産業システム事業の為替による増収
	営業損益	▲29	▲24	+5	(⚡) 鉄道事業の海外案件コスト減による改善
	ROS	▲4.2%	▲3.3%	+0.9%pt	
その他	売上高	▲ 118	▲ 101	+17	

ビルソリューション 主要事業内訳

単位:億円

	21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
ビルソリューション				
売上高	1,420	1,423	+3	為替影響 +77 (↗) 空調 (↘) 昇降機（海外）、照明
営業損益	64	3	▲61	為替影響+7 構造改革効果 ±0
ROS	4.5%	0.2%	▲4.3%pt	(↘) 昇降機（国内、海外）、照明、空調
セグメント別FCF		87		

デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	2,009	1,815	▲194	為替影響 +166
	営業損益	103	77	▲26	為替影響 +44 構造改革効果 ±0
	ROS	5.1%	4.2%	▲0.9%pt	
	セグメント別FCF		283		
半導体 ^{※1}	売上高	783	917	+134	(↗) (半) 産業向けなど市況堅調 (↗) (N) マスク描画装置販売増
	営業損益	56	124	+68	(↗) (半)/(N) 増収による増益
	ROS	7.2%	13.5%	+6.3%pt	
HDD他 ^{※2}	売上高	1,226	898	▲328	(↘) (H) モバイル/デスクトップHDD市場の縮小 (↘) (転) 商流変更
	営業損益	47	▲47	▲94	(↘) (H) 減収による減益
	ROS	3.8%	▲5.2%	▲9.0%pt	(↘) (H) 製品保証引当金の計上 (注)

注: 特定顧客と品質認識について協議中であり、会計基準に則り適切な引当計上をしている。影響額は約▲40億円。

※1: ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2: HDD、部品材料、転売等

(半): ディスクリット、システムLSI

(H): HDD (N): ニューフレアテクノロジー

(転): 転売

リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

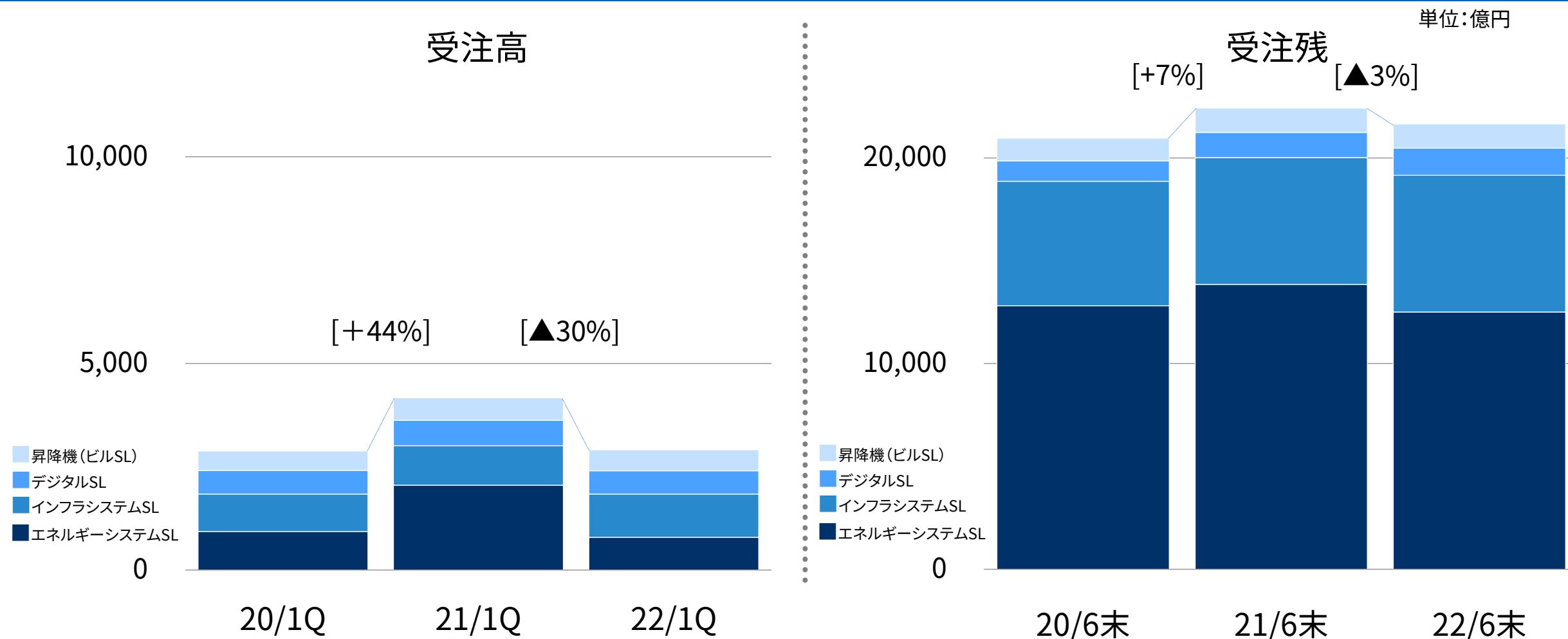
単位:億円

		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	1,105	1,106	+1	為替影響 +78 (▼) (R)減収 (↗) (P)増収
	営業損益	38	2	▲36	為替影響 ▲6 構造改革効果 +7
	ROS	3.4%	0.2%	▲3.2%pt	(▼) (R)減益 (↗) (P)増益
	セグメント別FCF		▲13		
					(R):リテール事業 (P):プリンティング（ワークプレイス）事業
		21/1Q	22/1Q	差	主な差異要因
デジタルソリューション	売上高	485	478	▲7	為替影響 ±0 (▼) 中部東芝エンジニアリング売却影響
	営業損益	29	25	▲4	為替影響 ▲1 構造改革効果 ±0
	ROS	6.0%	5.2%	▲0.8%pt	(▼) 中部東芝エンジニアリング売却影響
	セグメント別FCF		283		

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

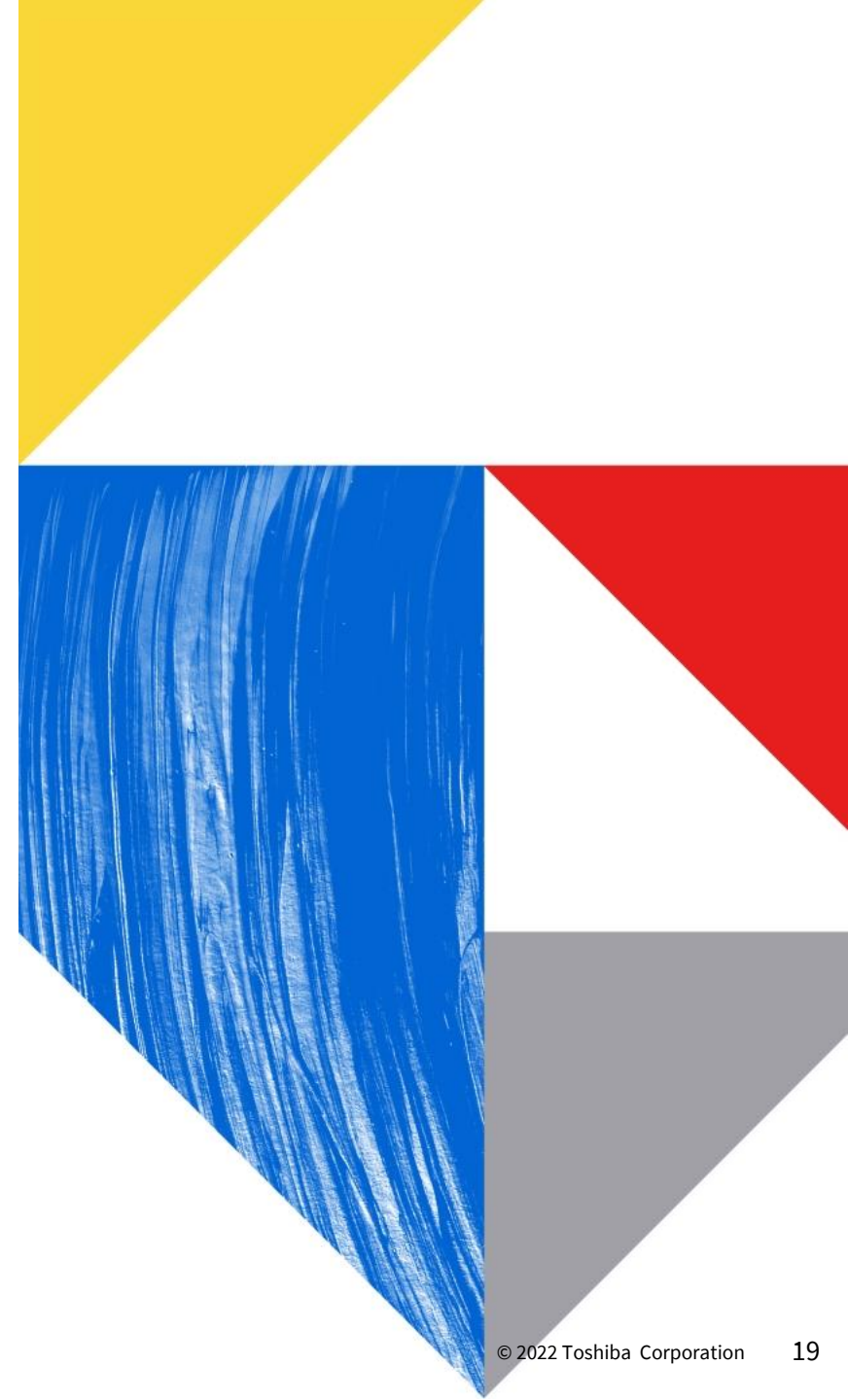
受注高 受注残 推移

1Q受注高は平年並み。受注残は火力案件等の売上進捗により対前同で減少。



03

補足説明事項



キオクシア持分法損益

				単位：億円			
		持分法損益	(PPA影響) 内数	除PPA影響	(ご参考) ビット成長率・ASP推移		
					ビット成長 (対前Q)		ASP (対前Q)
21年度	1Q実績	43	(▲68)	111	21年度 1Q実績	1桁%台後半の増加	10%台前半の上昇
	2Q実績	153	(▲68)	221	2Q実績	10%台後半の増加	1桁%台半ばの上昇
	3Q実績	190	(▲74)	264	3Q実績	1桁%台前半の減少	横ばい
	4Q実績	35	(▲64)	99	4Q実績	1桁%台前半の増加	横ばい
22年度	1Q実績	122	(▲41)	163	22年度 1Q実績	20%台前半の減少	10%台前半の上昇

データ提供：キオクシア

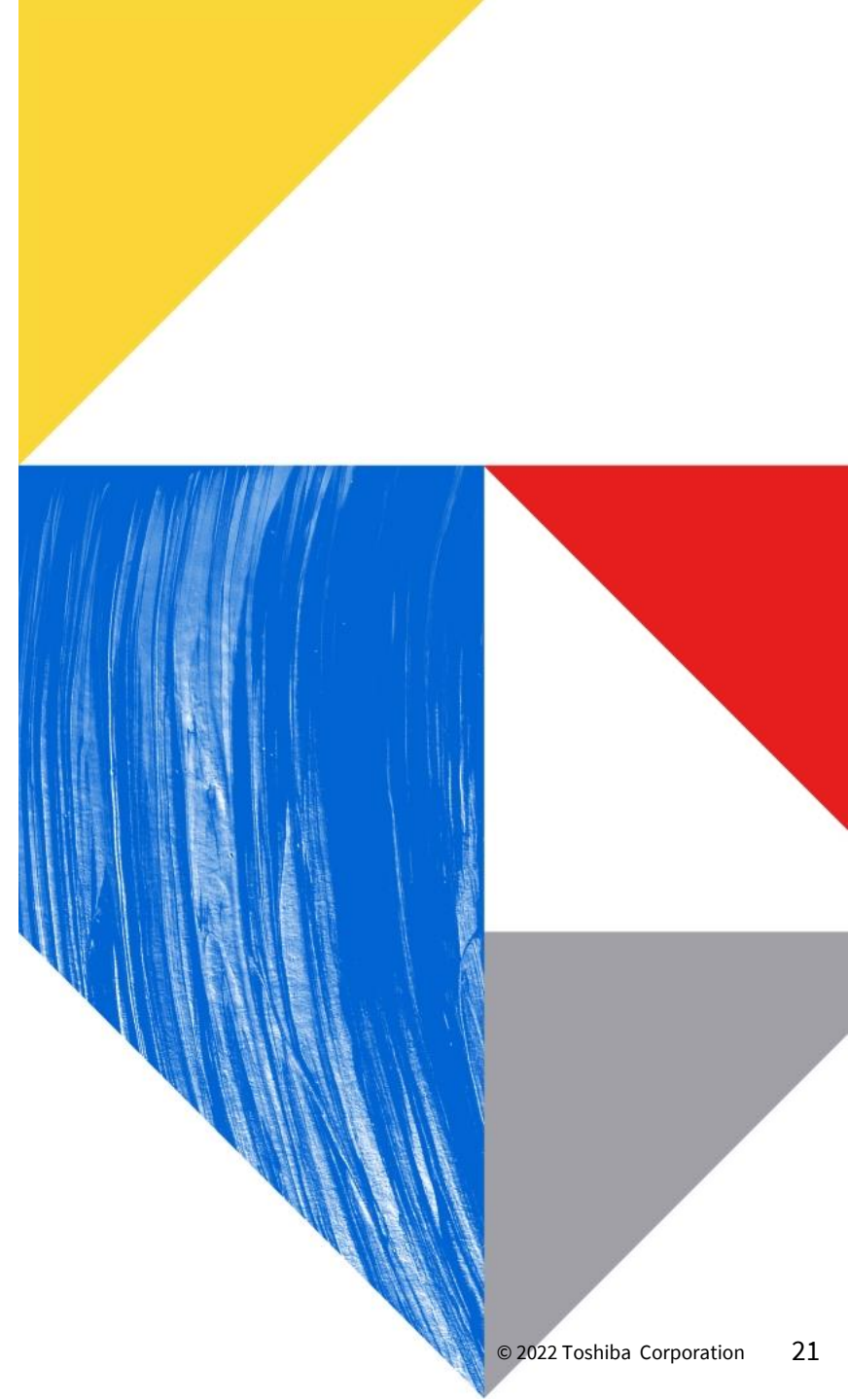
[今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 22年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値を開示しています。

04

2022年度業績予想



業績予想 全社

単位：億円

	21年度 実績	22年度 業績予想	差	対前回予想 (5/13公表)		22/3末 実績	23/3末 見通し	差	対前回予想 (5/13公表)
売上高 伸長率	33,370	33,000	▲370 ▲1%	0	株主資本 株主資本比率	12,066 32.3%	※ 12,800 34.6%	+734 +2.3%pt	+200 +0.4%pt
営業損益 ROS	1,589 4.8%	1,700 5.2%	+111 +0.4%pt	0 0.0%pt	Net有利子負債 Net D/Eレシオ	812 7%	1,000 ※ 8%	+188 +1%pt	▲200 ▲2%pt
EBITDA EBITDAマージン	2,441 7.3%	2,700 8.2%	+259 +0.9%pt	0 0.0%pt	期末日為替レート (米ドル)	122円	120円	▲2円	0円
税引前損益 ※1	2,391	※ 2,800	+409	+300	※22年度見通しは、キオクシアの持分法損益の将来見通しを織り込んでいない参考値です。				
当期純損益	1,947	※ 2,000	+53	+250					
ROE	16.4%	※ 16.1%	▲0.3%pt	+1.9%pt					
ROIC ※2	15.8%	※ 15.3%	▲0.5%pt	+1.7%pt					
フリー・キャッシュ・フロー	1,247	1,200	▲47	+200					

※1 東芝キャリア(株)の株式譲渡に伴い22年度業績予想には営業外収益として800億円が含まれております。

※2 ROIC=(当期純損益－非支配持分帰属損益－支払利子×(1－税率))÷(純有利子負債＋純資産)

業績予想 セグメント別

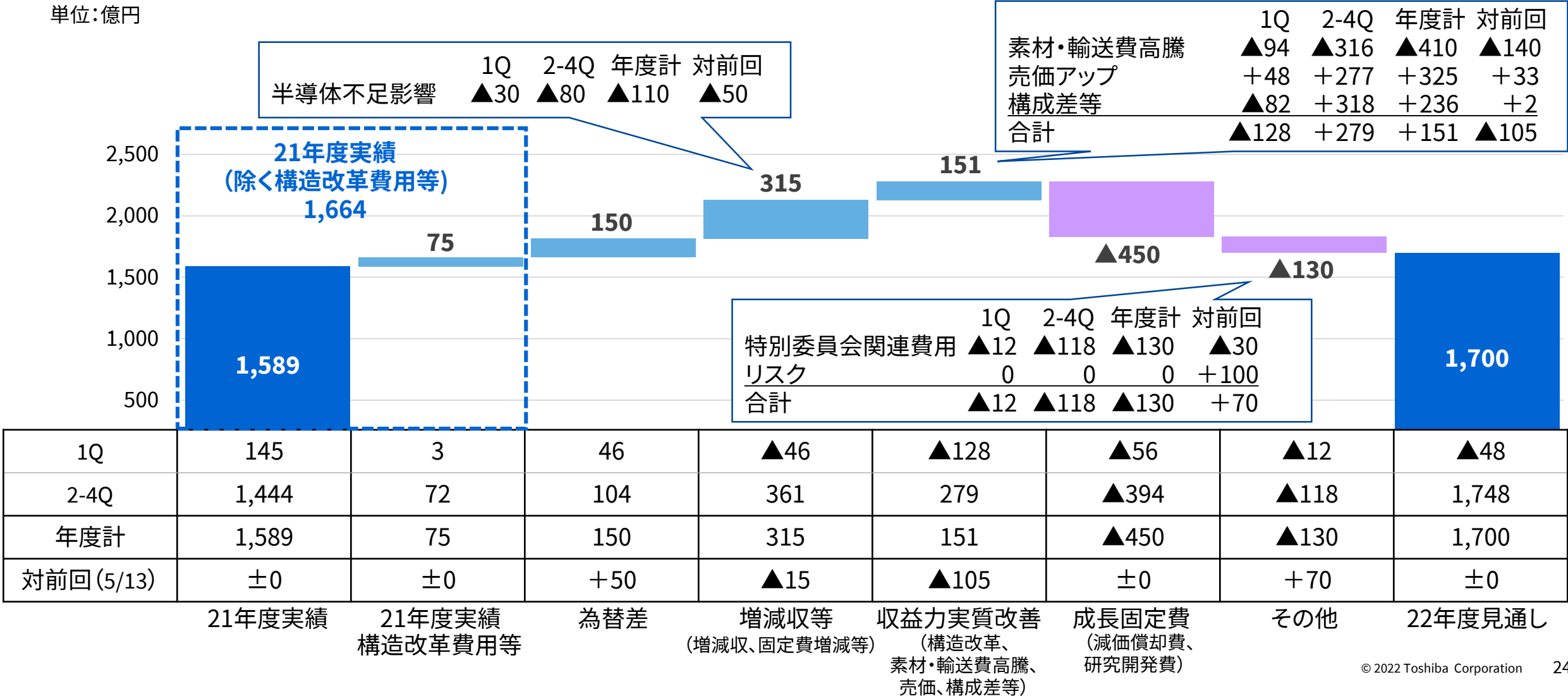
		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	単位:億円 対前回予想 (5/13公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,590	6,300	+710	(+13%)	+200
	営業損益	356	440	+84		0
	ROS	6.4%	7.0%	+0.6%pt		▲0.2%
インフラシステム ソリューション	売上高	6,547	7,000	+453	(+7%)	0
	営業損益	417	510	+93		0
	ROS	6.4%	7.3%	+0.9%pt		0.0%
ビル ソリューション	売上高	5,990	4,500	▲1,490	(▲25%)	+100
	営業損益	263	160	▲103		▲30
	ROS	4.4%	3.6%	▲0.8%pt		▲0.7%
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	4,532	4,600	+68	(+2%)	0
	営業損益	117	180	+63		0
	ROS	2.6%	3.9%	+1.3%pt		0.0%
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	8,598	8,900	+302	(+4%)	▲300
	営業損益	657	750	+93		▲50
	ROS	7.6%	8.4%	+0.8%pt		▲0.3%
デジタル ソリューション	売上高	2,306	2,300	▲6	(▲0%)	0
	営業損益	244	220	▲24		0
	ROS	10.6%	9.6%	▲1.0%pt		0.0%
その他・消去	売上高	▲193	▲600	▲407		0
	営業損益	▲465	▲560	▲95		+80
合計	売上高	33,370	33,000	▲370	(▲1%)	0
	営業損益	1,589	1,700	+111		0
	ROS	4.8%	5.2%	+0.4%pt		0.0%

※ 22年度業績予想には、東芝キヤリア(株)の株式譲渡に伴う影響を織り込んでいます。

営業損益分析(21年度→22年度)

期初想定を上回る半導体不足や素材・輸送費高騰影響に対し
売価アップや構成差等により、22年度は営業利益1,700億円の達成を目指す

単位:億円



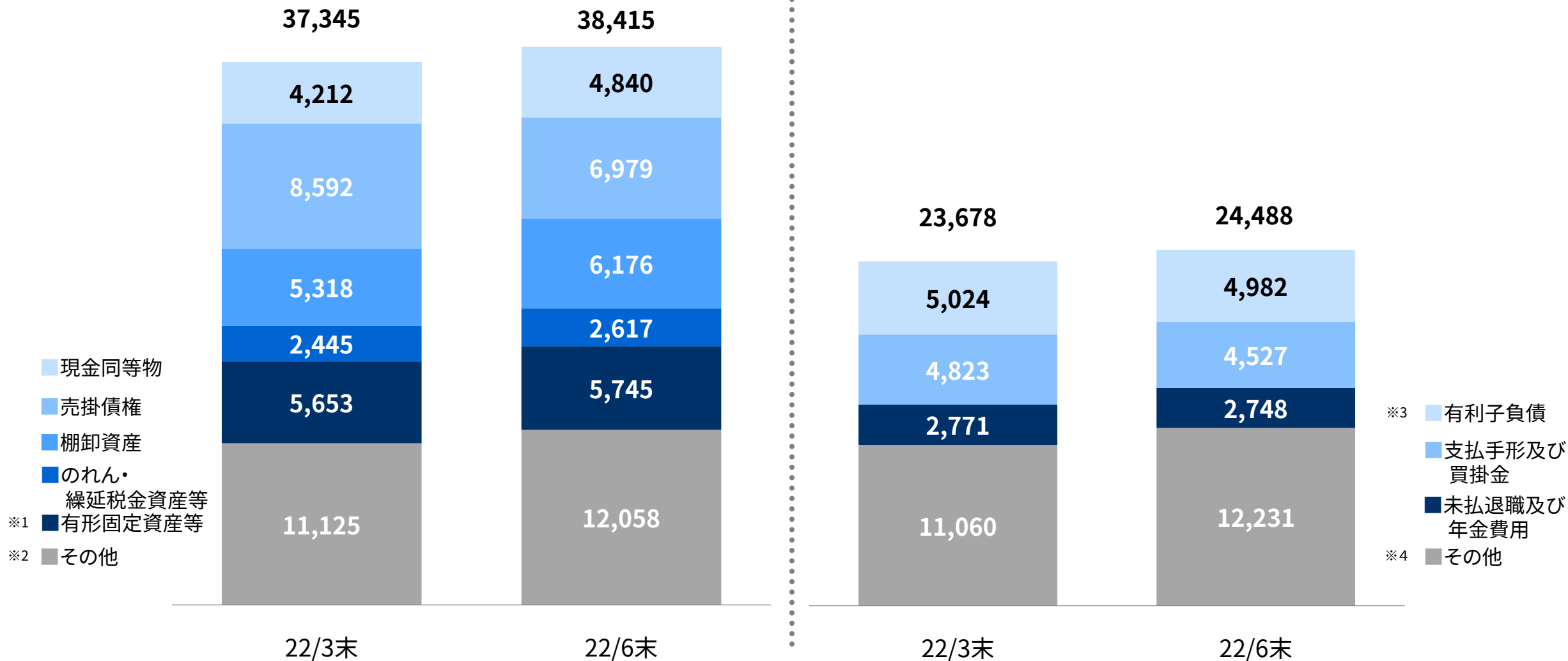
Appendix

貸借対照表

単位: 億円

資産

負債



※1 オペレーティング・リース使用権資産 (22/3末1,050億円、22/6末1,013億円) を含みます。

※2 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる資産 (22/3末2,154億円、22/6末2,487億円) を売却目的保有に分類し、その他に含みます。

※3 オペレーティング・リース債務 (22/3末1,091億円、22/6末1,043億円) を含みます。

※4 東芝キャリア(株)及びその傘下会社にかかる負債 (22/3末927億円、22/6末1,008億円) を売却目的保有に分類し、その他に含みます。

設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	21年度 実績	22年度 見通し	対前回 (5/13公表)	22/1Q 実績	22/1Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	120	220	0	7	
インフラシステム ソリューション	152	210	0	21	
ビル ソリューション	137	180	0	25	
リテール&プリンティング ソリューション	60	90	0	19	
デバイス&ストレージ ソリューション	682	1,000	0	621	パワー半導体増産投資
デジタル ソリューション	17	30	0	1	
その他	507	470	0	171	ITシステム刷新/次世代基幹システム
合計	1,675	2,200	0	865	
投融資	121	600	0		

エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,590	6,300	+710	(+13%)	+200
	営業損益	356	440	+84		0
	ROS	6.4%	7.0%	+0.6%pt		▲0.2%pt
発電システム	売上高	3,822	4,200	+378	(+10%)	+250
	営業損益	358	360	+2		0
	ROS	9.4%	8.6%	▲0.8%pt		▲0.5%pt
原子力	売上高	1,466	1,670	+204		0
	火力・水力	2,356	2,530	+174		+250
送変電・配電等	売上高	1,831	2,250	+419	(+23%)	0
	営業損益	22	60	+38		▲20
	ROS	1.2%	2.7%	+1.5%pt		▲0.9%pt
その他	売上高	▲63	▲150	▲87		▲50
	営業損益	▲24	20	+44		+20

※ 21年度実績は送変電・配電等とその他で一部を組み替えております。

インフラシステムソリューション 主要事業内訳 ビルソリューション

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
インフラシステム ソリューション	売上高	6,547	7,000	+453	(+7%)	0
	営業損益	417	510	+93		0
	ROS	6.4%	7.3%	+0.9%pt		0.0%pt
公共インフラ	売上高	4,034	4,250	+216	(+5%)	0
	営業損益	450	410	▲40		0
	ROS	11.2%	9.6%	▲1.6%pt		0.0%pt
鉄道・産業システム	売上高	3,090	3,400	+310	(+10%)	0
	営業損益	▲33	100	+133		0
	ROS	▲1.1%	2.9%	+4.0%pt		0.0%pt
その他	売上高	▲ 577	▲ 650	▲73		0
ビルソリューション ※	売上高	5,990	4,500	▲1,490	(▲25%)	+100
	営業損益	263	160	▲103		▲30
	ROS	4.4%	3.6%	▲0.8%pt		▲0.7%pt
昇降機		2,369	2,270	▲99	(▲4%)	+140
照明	売上高	1,156	1,320	+164	(+14%)	0
空調		2,496	970	▲1,526	(▲61%)	0

※ 22年度業績予想には、東芝キヤリア(株)の株式譲渡に伴う影響を織り込んでいます。

デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		21年度 実績	22年度 業績予想	差	(伸長率)	対前回予想 (5/13公表)
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	8,598	8,900	+302	(+4%)	▲300
	営業損益	657	750	+93		▲50
	ROS	7.6%	8.4%	+0.8%pt		▲0.3%pt
半導体 ^{※1}	売上高	3,640	4,400	+760	(+21%)	+100
	営業損益	490	670	+180		+50
	ROS	13.5%	15.2%	+1.7%pt		+0.8%pt
HDD他 ^{※2}	売上高	4,958	4,500	▲458	(▲9%)	▲400
	営業損益	167	80	▲87		▲100
	ROS	3.4%	1.8%	▲1.6%pt		▲1.9%pt

※1 : ディスクリット、システムLSI、(株)ニューフレアテクノロジー

※2 : HDD、部品材料、転売等

TOSHIBA